

学友会

「学友会」は学生の課外活動組織で、学友会長(学長)の下、「体育局」「文化局」「大学祭実行委員会」から構成され、学生により運営されています。体育局、文化局では、各局所属のクラブ・同好会から選出された学生が局長・次長・局員となり、クラブ間の調整や取りまとめ、またイベントの企画や実施を行い、大学祭実行委員会では委員長・副委員長の他、会計や広報など機能別の役割担当が置かれ、学生による大学祭の企画・運営が行われています。

学友会組織をまとめ、運営方針の策定や調整をはかるために「学友会運営委員会」が置かれています。この委員会は、体育局長・次長、文化局長・次長、大学祭実行委員

長・副委員長、各学部学生部の教員から構成され、学生が議長となり、主にクラブ・同好会の新設・改廃・昇降格や学友会予算の運用・執行について協議しています。また、各クラブの戦績報告や、大学祭の企画の精査および実施報告、学友会施設について等、学生の課外活動に係る事項について総合的に議題に取り上げられています。

学友会はSCPと共に学生の代表とも言える組織です。学友会所属団体のみなさんと、学生生活をより良く過ごすための意見や要望がありましたら、各局長や委員長までお寄せください。

■学友会年間行事予定

4月	新入生オリエンテーションにて クラブ紹介(体育局・文化局)
5月	
6月	九十九祭(大学祭実行委員会) 社行会(体育局)
7月	北海道地区大学体育大会 (体育局所属クラブ参加)
8月	全日本歯科学生総合体育大会 (体育局所属クラブ参加)
9月	
10月	
11月	文化週間(文化局) 球技大会(大学祭実行委員会)
12月	
1月	
2月	
3月	

体育局



体育局長
澁谷 友明
(薬学部3年)

体育局長としての一年

私が体育局長になったいきさつを話します。始まりは体育局員として局長をサポートする仕事でした。先輩には「何も仕事ないから」と言われ引き受けたのですが、当時の局長が任期半ばで辞めることになり、私が局長を引き継ぐことになりました。

局長となって最初の仕事は定例会の開催でした。体育局所属のクラブ・同好会から代表者を招集し、活動状況のチェックや連絡事項の伝達等のため毎月開催しているのですが、時期により楽と苦があります。次に、学友会から各クラブに配分した活動費の決算面談をしました。多くのクラブ・同好会と面談をするのですが、連絡がつかない、時間を守らないといったことなど、思い通りにならず、苦労したこともありました。他には、新入生に向けての部活紹介、また社行会の司会をしました。局長の仕事の中でも一番大変だったのが、春先に行う予算面談です。限られた予算内で各クラブ・同好会に活動費を配分しなければなりません。それぞれの意向を反映させたりと調整が難しいのですが、例年よりは揉め事が少なかったようなので上手こなせたと思っています。

引き受けた当初はあまり嬉しくなく、また局長としての仕事が大変な一年でしたが、次長や学生支援課の人たちにも助けてもらいやり遂げることができました。正直、やってよかったという気持ちは少ないですが、人として成長出来たかなと思い、感謝しています。

文化局



文化局長
井上 舞子
(薬学部3年)

文化局の活動を通して

私は2010年4月から文化局長を務めさせていただきました。文化局の活動の一番大きなところは文化週間の企画・運営です。今年もよりたくさんの方に見ていただこうと、昨年度に引き続きポスター作製を行いました。また、学祭で行った学術発表やステージ発表を見に来られなかった方にもわかるように、事後報告という形で、学友会掲示板にそれぞれの団体の写真と文化局員が見た感想を掲示し、さらに各部署がみなさんに伝わるよう文化局執行部一同工夫を凝らしました。

文化局の仕事として一番重要なことは、各団体の活動がより円滑に行えるよう手助けをすることです。文化局執行部として各団体の日々の活動もより良いものを目指し活動しています。

文化局長として1年間やってきましたが、文化局長になった当初は、人に物事を伝えることが苦手なのでこの仕事に務まるか不安でした。しかし、文化局員をはじめたくさんの方々を支えられ、無事仕事を務めることができ、たくさんのご褒美をいただくことができました。この場を借りて、他の文化局員、各団体みなさん、その他協力して下さった方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。最後に、これから新しい代の文化局執行部が始まりますが、所属団体がより良い活動ができるよう心がけ、さらに活動が活性化することを願っています。

大学祭 実行委員会

「九十九祭」を振り返って



大学祭実行委員長
村山 亮
(薬学部3年)

私は人前で発言するのが得意ではありません。大学祭実行委員会に入ってから2年間、大変な仕事も殆ど無くこのまま隠居出来るのではと思っていましたが、去年いつの間にか委員長座についていました。初めは「こんな自分が指揮をとって大丈夫なのだろうか?」と思っていましたが、この1年間の数々の経験が私を大きく成長させてくれ、「九十九祭」を無事やり遂げることができました。

そんな私が任期を終えることができたのは、多くの支えがあった事が大きいと思います。それは、私を最後まで支えてくれた大学祭実行委員のみなさんがいてくれたからです。彼らの力が去年の「九十九祭」をより良いものとしてくれました。また、「九十九祭」は出店・学内展示をして下さった学生方、当別町など外部団体の方々による、多くの人々の協力の上で成り立っています。その方々の支えのおかげで去年も祭りを開催するこ

とが出来ました。この場を借りて、心から感謝したいと思います。

去年の「九十九祭」は天候に恵まれ、一昨年とは違う新しい企画を盛りこみましたので、楽しんでいただけたかと思います。しかし、反省点は多々ありました。今年はその経験を活かして、より一層笑顔の絶えない「九十九祭」にしてくれることを願っています。そして、一緒に祭りを盛り上げてくださる皆様のご協力をよろしくお願いいたします。